

新しい緑化植物のコンテナ生産技術の開発

【研究概要】

民間企業による都市の再開発やリノベーションによる緑化に一定の需要がある中、枝葉のボリュームに優れるなどの品質の高いものが求められている。そこで、品質の高いコンテナ生産に向けて効率的な栽培管理方法を検討し、新しい生産技術を開発する。また、この技術を活用し生産した高品質な大型コンテナ緑化植物の商品性を評価することを目的に試験を実施した。その中で、今年度は下記の成果が得られた。

ヒメシャリンバイ及びイヌツゲ「ヒレリー」苗の生育に関して、適正土壤pHを明らかにした。土壤pH5.0が適正と考えられ、両樹種とも高pHになるとクロロシスが発生しやすく、枯損も多くなった。施肥の種類はクロロシス発生には無関係と考えられる。